

# 図書館だより 6月号

令和5年6月発行  
阿波高校図書委員会



## 新着図書

総記	超デジタル世界	西垣 通 // 著	
哲学	かくれ織細さんの「やりたいこと」の見つけ方	時田 ひさ子 // 著	
社会科学	さらば、男性政治	三浦 まり // 著	
	ACE サバイバー	三谷 はるよ // 著	
自然科学	「複雑系」入門	金 重明 // 著	
	宇宙思考	BossB // 著	
	昆虫の惑星 課題図書	アノ スガ エルトゥプ = テイゲ-ソノ // 著	
	医の変革	春日 雅人 // 編	
	まちがえる脳	櫻井 芳雄 // 著	
工学	入門環境経済学	有村 俊秀 // 著	
	核のごみをどうするか	今田 高俊 // 著	
産業	人口減少時代の農業と食	窪田 新之助 // 著	
	タガヤセ!日本 課題図書	白石 優生 // 著	
	動物がくれる力	大塚 敦子 // 著	
言語	海外の大学に進学した人たちはどう英語を学んだのか	加藤 紀子 // 著	
読み物	私はないものを数えない。	葦原 海 // 著	
	夜叉ヶ池 「乙女の本棚」シリーズ	泉 鏡花 // 著	
	物語の種	有川 ひろ // 著	
	恋とそれとあと全部	住野 よる // 著	
	凧に溺れる	青羽 悠 // 著	
	神様の御用人 継いでゆく者	浅葉 なつ // [著]	
	86-エイティシックス- Alter.1	安里 アサト // 著	
	それってパクリじゃないですか? ドラマ化	奥乃 桜子 // 著	
	ようこそ実力至上主義の教室へ 2年生編 9	衣笠 彰梧 // 著	
	レモンと殺人鬼	くわがき あゆ // 著	
	二木先生	夏木 志朋 // [著]	
	薬屋のひとりごと 13	日向 夏 // [著]	
	合理的にあり得ない ドラマ化	柚月 裕子 // [著]	
	マンガ	戦争は女の顔をしていない 4	小梅 けいと // 作画
	進路	霞が関の人になってみた	霞 いちか // 著
偏差値 45 からの大学の選び方		山内 太地 // 著	
航空宇宙エンジニアになるには		小熊 みどり // 著	
港で働く		鏡田 浩章 // 著	

## ○図書委員さんのオススメ!

『ハリー・ポッターと賢者の石』 J. K. ローリング / 著 松岡佑子 / 訳

私がこの本を紹介しようと思った理由は、少し前に遠足で USJ に行き、ハリーポッターの施設を見て久しぶりに読もうと思ったからだ。これまでも読んだことがある人は多いと思うが、この本では「ハリーポッター」が暮らす街の様子や学校の様子、登場人物の表情、感情などが、ありありと目に浮かび、とても面白い。実際のUSJの施設もハリーポッターの世界観が表現されており、楽しかった。戦闘シーンでは、魔法の描写や敵の姿や迫力、敵として現れるドラゴンやケルベロス等の詳しい描写がされており、文章で臨場感を伝えてくれる、すごい文章だと感じた。この本のすごいところは、私たちが見たことのない魔法や生き物でも、この本を読むことで想像することができ、その世界に連れて行ってくれるところだと思う。普段体験できない世界に入り込める、とても面白い本なので、ぜひ一度手に取ってほしい。



『営繕かかや怪異譚』 小野 不由美 / 著

この物語は、営繕屋である尾端を中心に展開されます。死んだ叔母から受け継いだ、何度閉めても寒い、でもいつの間にか開いている襖のある古い町屋。屋根裏に誰かいる河童の住まう家。会ってしまえば必ず不幸になってしまう、雨の日だけに現れる小路の謎の喪服の女。私だけにしか見えない家の中に潜む瘦せこけた老人。気付けば、“びたん”と音がする、水位が変わる死の井戸。シャッターが降りるのは、誰のせい? 親に見捨てられた子供が助けを求めるガレージ。このような計6つのお話が短編集のようになっているので、長編作品が苦手な人や読書が苦手な人でも読みやすくなっていると思います。この作品は『青の祓魔師』で知られている漫画家の加藤和恵さんによって集英社から漫画化されています。物語が面白いのはもちろんですが、加藤さんの美しい絵と混ざり合っただけで面白くなっています。気になった人はぜひ両方合わせて読んでみてください。



『ナナメの夕暮れ』 若林 正恭 / 著

この本は、芸人のオードリーの若林さんが書かれた本で、普段、日常の中で自分が気になっていることを書き連ねており、時にはそれをどう解決したのかが書かれていることもあります。若林さんの性格自体、些細なことも気になったり、繊細だったりする人で、あまり共感できないと思っていましたが、テレビでの人物像と違い、共感できることも多々あり非常に面白かったです。

そしてこれはエッセイ集ということもあり、一つひとつのストーリーが短く、多いものでも約10ページほどで完結します。違う話がどんどん読めるので、飽きにくく、活字が苦手なページ数が多い本を読むのが苦手な人にもおすすめできる1冊になっています。

